

各種予防接種標準スケジュール表

2012/01/01 現在

- ◆ これは元は当院の職員教育用のあんちょこです。予防接種に関心が高い保護者の方の参考のため公開します。
- ◆ 現状、日本ではあまり一般的でないものも記載してあります。
- ◆ ただし日本では特殊な事しないと事実上使えないワクチンは記載してません。
- ◆ 元が職員用あんちょこなので、読みづらい言葉や用語解説が丁寧でないが許してね。
- ◆ 詳しくは是非ここ見て下さい。 → <http://www.know-vpd.jp/>
- ◆ 接種開始年齢が若い順に並べました。
- ◆ **不活化ワクチン**接種後は **1週間**、**生ワクチン**接種後は **4週間**、他のワクチンまで開ける必要があります。

●B型肝炎(HBV)ワクチン接種スケジュール

ワクチン種別: 不活化ワクチン

児の年齢	0歳	3ヶ月頃	9ヶ月頃	11~15歳
開始時年齢				
2ヶ月 計3回接種 これが標準	1回目	2回目	3回目	追加
	←1ヶ月		←6ヶ月	

- ◆ 本来の理想的な接種は、**生後1週間以内(最遅3ヶ月まで)に1回目、2~4ヶ月で2回目、9~12ヶ月で3回目**。
- ◆ ただし日本では、実際には1週目までに接種されてる例はほとんどないので、この↑プランは現実的ではない。
- ◆ よって現実的には、**2ヶ月で1回目、3~4ヶ月で2回目、9~12ヶ月で3回目**が推奨される。
- ◆ これは1・2回目については、Hib や PCV 等と同時にやるべし、という事を意味する。
- ◆ 賞味期限は10~15年なので、11~15歳の時に追加接種するのが望ましい。女子ならHPVと同時とかで。
- ◆ WHO 推奨ワクチンだが、日本では母子感染例を除きほとんど行われていない。
- ◆ 母がHBV感染者の**新生児**の場合は保険適応で接種できる。

●ロタウィルスワクチン(RV)接種スケジュール

ワクチン種別: 生ワクチン

児の年齢	0歳(6週以降)	3ヶ月頃
開始時年齢		
2ヶ月 計2回接種 これが標準	1回目	2回目
	←20週迄に 1回目を終わらす 4週以上	
		←24週迄に 2回目を終わらす

- ◆ 理想的な接種は、**2ヶ月(最遅20週まで)に1回目、3ヶ月(最遅24週まで)で2回目**、となる。
- ◆ 1回目は**6週齢以降**でなければならない。また、**1回目は20週、2回目は24週までに**接種しなければならない。
- ◆ この制限は厳守が求められ、期限を過ぎると接種する事ができない。
- ◆ 腸重積の既往がある児や、先天異常などでその恐れが強い児には接種できない。
- ◆ 6週齢以降なら接種できるが、他のワクチンとの兼ね合いから1・2回目共、Hib+PCV等と同時にやるべし。
- ◆ 海外ではRVワクチンとして「ロタリックス®」と「ロタテック®」があるが、2012.1月現在日本で使えるのは「ロタリックス」のみ。この↑スケジュールは「ロタリックス」の場合で、「ロタテック」はこれとスケジュールが異なる。

●Hib ワクチン接種スケジュール

ワクチン種別: 不活化ワクチン

児の年齢	0歳	6ヶ月頃	1歳	2歳
開始時年齢	初回免疫の期間		追加免疫の期間	
2~6ヶ月 計4回接種 これが標準	1回目	2回目 4~8週	3回目 4~8週	追加 (通算4回目) 約1年
7~11ヶ月 計3回接種		1回目	2回目 4~8週	追加 (通算3回目) 約1年
1歳~4歳 計1回接種			1回 で終了	
5歳~ 適応外				

- ◆ 理想的な接種は、2ヶ月、遅くとも6ヶ月から開始して1歳になる前に初回接種(3回)を済ませ、後に(1年後、即ち1歳5ヶ月前後)追加免疫としてブースター効果かける為にもう1回、となる。
- ◆ 4~8週というのは、実際には4週間隔を推奨。理由はDPTや小児用肺炎球菌ワクチン(PCV7)と同時にやりたいから。
- ◆ あとRVやHBも同時にやるともっと良い。
- ◆ 5歳以上は既に自然免疫獲得済とみなされ、適応外となる。
- ◆ 江東区民には公費による半額補助がある。ただし保健所への事前手続が必要。

●小児用肺炎球菌ワクチン(PCV7)接種スケジュール

ワクチン種別: 不活化ワクチン

児の年齢	0歳	6ヶ月頃	1歳	2歳
開始時年齢	初回免疫の期間		追加免疫の期間	
2~6ヶ月 計4回接種 これが標準	1回目	2回目 4週以上	3回目 4週以上	追加 (通算4回目) ←1歳前に3回完了させる 60日以上 ←12~15ヶ月齢にやる
7~11ヶ月 計3回接種		1回目	2回目 4週以上	追加 (通算3回目) 60日以上 ←1歳になってからやる
1歳 計2回接種			1回目	追加 (通算2回目) 60日以上
2歳~9歳 1回接種				1回 で終了
10歳~ 適応外				

- ◆ 理想的な接種は、2ヶ月、遅くとも6ヶ月から開始して1歳になる前に初回接種(3回)を済ませ、後に(1歳~1歳3ヶ月前後)追加免疫としてブースターかける為にもう1回、となる。
- ◆ 初回免疫を早くやった場合も、追加免疫は必ず1歳になってから行う。
- ◆ 4~8週というのは、実際には4週間隔を推奨。理由はDPTやHibと同時にやりたいから。RVやHBも同時が理想。
- ◆ 10歳以上は既に自然免疫獲得済とみなされ、適応外となる。
- ◆ 海外ではより幅広く肺炎球菌をブロックするPCV13が既に実用化されているが、日本ではいつになるやら...
- ◆ 江東区民には公費による一部補助がある。ただし保健所への事前手続が必要。

●三種混合ワクチン(DPT- I 期)接種スケジュール

ワクチン種別: 不活化ワクチン

児の年齢	0 歳	6 ヶ月頃	1 歳	2 歳
開始時年齢	初回免疫の期間		追加免疫の期間	
3 ヶ月～1 歳 計 4 回接種 これが標準	1 回目	2 回目	3 回目	追加 (通算 4 回目)
7.5 歳～ 公費適応外	← 3～8 週 ← 3～8 週 ← 1 年～1.5 年 →			

- ◆ 理想的な接種は、3 ヶ月から開始して 1 歳になる前に初回接種(3 回)を済ませ、後に(1 年後、即ち 1 歳 5 ヶ月前後)追加免疫としてブースターかける為にもう 1 回、となる。
- ◆ 3～8 週というのは、実際には 4 週間隔を推奨。理由は Hib や PCV7 と同時にやりたいから。
- ◆ 7 歳 6 ヶ月以上は適応外ではないが、公費での扱いはなくなる。
- ◆ 実際には DPT+Hib+PCV7 の初回免疫 3 回接種の間のどこかに BCG が入り、BCG の後は 4 週間他の予防接種が出来ないので、その間隔は 5 週(DPT+Hib+PCV7 接種後→BCG までで最低 1 週、BCG→DPT+Hib+PCV7 に最低 4 週、合計で 5 週)より開くことにはなる。ここちょっとタイトだけどその場合も 8 週を超えないようにうまくスケジュールする。

●BCG ワクチン接種スケジュール

ワクチン種別: 生ワクチン

児の年齢	0 歳	6 ヶ月頃
開始時年齢		
4～5 ヶ月 1 回接種 これが標準	1 回目	
1 歳～ 公費適応外		

- ◆ 理想的な接種は、4 ヶ月頃に 1 回、となる。
- ◆ 公費接種は指定の医療機関でのみの扱い。みやクリは指定でないです(2011.9 月現在)。
- ◆ 自費接種であれば当院で可能。

●経口ポリオワクチン接種スケジュール

ワクチン種別: 生ワクチン

児の年齢	5～6 ヶ月	9～10 ヶ月頃
開始時年齢		
5 ヶ月 計 2 回接種 これが標準	1 回目	2 回目
7.5 歳～ 公費適応外	← 6 週間以上 →	

- ◆ 理想的な接種は、5～6 ヶ月頃に 1 回、9～10 ヶ月頃にもう 1 回、遅くとも 1 歳 6 ヶ月までに終了させる、となる。
- ◆ 保健所での集団接種のみ。医療機関での個別扱いはない。
- ◆ 集団接種なので自由な時に接種できるわけではない。実際の接種タイミングは保健所からの指示に従う。
- ◆ ただし 1 回目と 2 回目はほんだけ開いても効果に問題はなく、事実上の感染リスクも低いので、焦らなくとも良い。
- ◆ 焦らなくて良いとは、DPT+Hib+PCV7 や BCG の方が日程的に優先されるべきという事。
- ◆ 海外先進国では不活化ポリオワクチン(経口でなく注射剤)が主流になって久しいが、日本では...相変わらず遅れてる。

●麻疹風疹ワクチン(MR)接種スケジュール

ワクチン種別:生ワクチン

児の年齢	1歳	5歳	12歳	17歳
開始時年齢	標準		2013.3月までの特別措置	
1歳 計2回接種 これが標準	I期 1歳である間にI期	II期 年長さんである間にII期		
中1			III期	
高3				IV期

- ◆ 理想的な接種は、**1歳なりたてで1回接種(I期)を済ませ、後に幼稚園年長さんなりたての時にもう1回接種(II期)**。
- ◆ 2013/03/31までの特別措置として、中1でIII期、高3(海外に修学旅行等に行く高2はその時)でIV期を接種する。
- ◆ III期・IV期は同一人物で重複しない。どちらか一方のみ。
- ◆ I期・II期を接種した児にはIII・IV期はない。
- ◆ I期は1歳である間、II・III・IV期は対象学年の03/31を過ぎると公費適応外となる。自費ならいつでも可能。

●水痘(みずぼうそう)ワクチン接種スケジュール

ワクチン種別:生ワクチン

児の年齢	1歳	3~4歳
開始時年齢		
1歳 1~2回接種 これが標準	1回	2回目 3年前後

- ◆ 理想的な接種は、**1歳で1回、できれば3~4歳でもう1回**、となる。
- ◆ これは自費任意接種なので、**1歳以上**という以外に接種時期・回数についての規定はないが、医学的には2回接種が望ましい。ただし現状、日本ではあまり2回接種は行われていない。
- ◆ 1回目はMR-I期と同時か、またはMR-I後4週以上開けてわりと早い時期の接種を推奨。
- ◆ おたふくワクチンとどちらが先かは、流行状況によっても異なる。つか、そもそも両者同時接種でよい。
- ◆ 更に带状疱疹予防のため、50~60歳でもう一回やるとなるとお良いが、それには日本のワクチンではちと効果が薄い。

●おたふくかぜ(ムンプス)ワクチン接種スケジュール

ワクチン種別:生ワクチン

児の年齢	1歳	3~5歳
開始時年齢		
1歳 1~2回接種 これが標準	1回	2回目 3~4年

- ◆ 理想的な接種は、**1歳で1回、できれば3~5歳でもう1回**、となる。
- ◆ これは自費任意接種なので、**1歳以上**という以外に接種時期・回数についての規定はないが、医学的には2回接種が望ましい。ただし現状、日本ではあまり2回接種は行われていない。
- ◆ 1回目はMR-I期と同時か、またはMR-I後4週以上開けてわりと早い時期の接種を推奨。
- ◆ 水痘ワクチンとどちらが先かは、流行状況によっても異なる。つか、そもそも両者同時接種でよい。

●日本脳炎ワクチン接種スケジュール

ワクチン種別: 不活化ワクチン

児の年齢	3 歳	4 歳	9 歳
開始時年齢	I 期初回	I 期追加	II 期接種
3 歳 計 4 回接種 これが標準	1 回目 2 回目 1~4 週	追加 (通算 3 回目) 約 1 年	II 期
7.5 歳~ 公費適応外		I 期は 7.5 歳以上 公費適応外	II 期は 13 歳以上 公費適応外

- ◆ 理想的な接種は、3 歳なりたてで 2 回接種 [I 期初回接種] を済ませ、後に (約 1 年後、4 歳なりたて) で 1 回接種 [I 期追加]、更に 9 歳でもう 1 回接種 [II 期]、となる。
- ◆ 近年ワクチン停止され、2009.6 月より順次再開という事があったが、再開後も法律上 7.5 歳~8 歳、および 13 歳以上は接種ができず、必要なのに接種できない児が出ていた。しかし↓
- ◆ 特例として、1995/06/01~2007/04/01 生まれの人は、20 歳前日まで何歳でも (7.5 歳~8 歳、13 歳以上も含む) 接種できる、と 2011/05/20 に決まった。これで中止期間に適齢期を過ぎてしまったほぼ全ての児の接種ができる。
- ◆ 2011/06/01 現在、I 期初回・追加相当者 (3~4 歳) と II 期相当者 (9 歳) には区から書類が来るが、それ以外の年齢の児には来ない。ただし書類が送られてこないだけで、この↑誕生日期間の児はみやクリ設置の書類を使い接種することが可能。
- ◆ この辺非常にややこしくなってるので、詳しくはご相談下さい。

●二種混合ワクチン (DT- II 期) 接種スケジュール

ワクチン種別: 不活化ワクチン

児の年齢	11 歳~12 歳
開始時年齢	
11 歳 1 回接種 これが標準	1 回目
13 歳~ 公費適応外	

- ◆ 理想的な接種は、11 歳に 1 回、となる。
- ◆ これは DPT ワクチンのブースターに相当する。つまり DPT をきちんと 4 回接種していることが前提。
- ◆ 13 歳以上は適応外ではないが、公費での扱いはなくなる。

●子宮頸癌(HPV)ワクチン接種スケジュール

ワクチン種別:不活化ワクチン

児の年齢	10歳～中学生			
	できるだけ処女である内			
開始時年齢				
女子中学生 計3回接種 これが標準	1回目	2回目	3回目	←1回目から6ヶ月である事に注意 (2回目が遅れた場合は、そこから数え直し)
	←1or2ヶ月		6ヶ月	
何歳でも接種法は同じ	処女でなくても何歳でも。			

- ◆ 理想的な接種は、**女子中学生な内に3回**、となる。(10歳以上ならいつでも接種は可)
- ◆ HPV **予防**ワクチンであって**治療ワクチンではない**ので、既感染を排除する力はない。従って HPV 未感染がほぼ確実な処女である内に接種するのが望ましい。
- ◆ しかし今現在 HPV-16/18 に感染してなければ意味はあるので、処女じゃなくても何歳でも、全ての女性に接種を推奨。
- ◆ 2回目接種が1ヶ月後か2ヶ月後かはワクチンの製品による。「サーバリックス®」の場合は前者、「ガーダシル®」は後者。
- ◆ この接種をしても、「絶対に癌にならない」わけではない。**子宮頸癌健診などは必ず受ける**べき。
- ◆ 江東区在住の**中1女子**(2012/03/31までは中2～高2女子も)は全額助成金が出るので無料。該当者には必要書類が区から送られてきます。

●老人用肺炎球菌ワクチン(PPV23)接種スケジュール

ワクチン種別:不活化ワクチン

年齢	2歳	65歳	70歳	75歳
開始時年齢				
65歳～ 5年毎接種 これが標準		1回目		
		←5年		←5年
～64歳 公費補助外				←5年毎繰り返し

- ◆ 理想的な接種は、**年取ってきたら1回、あとは5年毎に1回ずつ繰り返し**、となる。(2歳以上ならいつでも接種は可)
- ◆ 主として老人の肺炎(の一部)予防を目的としているので、「年取ってきたら」とは**65歳以上が一応の目安**となる。
- ◆ 10～64歳では、何らかの免疫不全を持つ人には強く推奨される。
- ◆ PCV7 が登場した 2010 年現在としては、**2～9歳はこれではなくてむしろ PCV7**を推奨する。
- ◆ 65歳以上の江東区民には**生涯に1回だけ**公費による半額補助がある。ただし**保健所に事前手続**が必要。

附：みやくりいんちよの考える理想的なワクチン接種スケジュール(参考)

WHO 推奨ワクチン準拠

ただし日本では特殊な事しないと使えない物は非掲載

- ★ 縦↑に同じ欄に並んでいるものは同時接種推奨。
- ★ 横→に並んでいるものはワクチン種別により互いに適切な間隔を開けて接種する。
- ★ 「必須」は最低限こんなだけはやっつけという意味。ただし色付いてない欄は自費。
- ★ 色なしの欄がこんなにあるというだけでも、日本の予防接種がいかに世界標準から遅れているか、わかるでしょ？
- ★ 「できれば」は現状日本ではあまり(と言うか、ほとんど)行われていないが、医学的には推奨されるもの。

誕生から	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	1歳	1歳5ヶ月	
必須		DPT I-初-1	DPT I-初-2	BCG	DPT I-初-3	ポリオ 1		ポリオ 2	MR I	DPT 追加
	Hib 初-1	Hib 初-2	Hib 初-3					水痘 1	Hib 追加	
	PCV7 初-1	PCV7 初-2	PCV7 初-3					PCV7 追加	おたふく 1	
できれば	RV 1	RV 2								
	HBV 1	HBV 2				HBV 3				

誕生から	3歳	4歳	5歳	9歳	11歳	女子中学生
必須	日脳 I-初-1,2	日脳 I-追加	MR II	日脳 II	DT II	HPV 1,2,3
できれば		水痘 2	おたふく 2			

いずれもみやたけクリニックで勝手に推奨している時期というだけなので、この時期でなければダメだという事じゃないです。

※この他に、毎年 10 月後半と 11 月中旬頃にインフルエンザ×2 回。

※あと 65 歳以上の方は肺炎球菌ワクチン(PPV23)を 5 年毎。

※帯状疱疹防止のため、50~60 歳で高力価水痘ワクチン接種を推奨。ただし日本ではこれ←売ってないので普通の水痘ワクチンで代用。

※ホントは子供に A 型肝炎ワクチンも接種したいが、日本では 16 歳以上でしか接種できないとか激しくピンぼけ。ほとんど行われてない。

※2012 年度中に、もう 1 種のロタウィルスワクチンが認可され、ポリオワクチンが生ワクチンの経口接種 → 不活化ワクチンの皮下注接種 に変更される...見込みで...す？